

学びのネットワーク

市民講師によるサロン塾

第1回

大人の絵本

大人が楽しむ絵本朗読



期 日 令和5年10月2日（月）

午後1時30分から3時30分時まで

場 所 鶴瀬公民館・いきいき活動室

講 師 福島裕美（ふくしまますみ）氏

司書、絵本専門士「雪竹ますみ」

参加者 13名



講 師 福島 裕美

最初に「おはなししましょ」の本を読み始め、つぎに配られた資料の中の用紙に自分の思っていることを書いてみましょうとの講師の言葉。

皆さんそれぞれに、今思い当たる言葉を書く

続いて、「ウオッシュューパーツさんがいえからでない」の本をとりあげ、

なんで家から出ないのか考えてくださいと質問

それぞれ、考えられることを書き出した。

そのあと、本を開きその理由が解き放される。自分の考えたこととあった人は、ニコリ、外れた人はアー残念とため息。いろいろなことが考えられて、絵本はおもしろいなとまず始めの感想



3 番目の設問は、参加者 2 名に一冊の絵本が配られ、題名と作者、表紙だけを見てその本がどんな内容かを考えてください。という問題
今までにない講座の進め方に戸惑いながらも皆さん懸命に考えて、感想を書き留める。

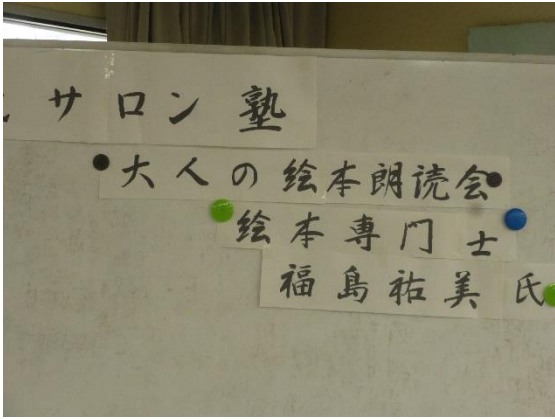
そのあと講師が全員の「感想」と共に本の内容を読み上げた。(学生時代の試験を受けている感じ?)

因みに 6 冊の本は

- ① こいしがどーん
- ② かとりせんこう
- ③ ガスこうじょうききいっぽつ
- ④ 30000 このすいか
- ⑤ うしとざん
- ⑥ まくらのせんにん

それぞれ、考えた内容と本の内容があっている方もいれば、全然違って居る方もあり、和やかな雰囲気ですべての講評が進行した。最後に全体的な講評があり、絵本ですから表紙をよく見ていると本の内容の何かヒントがあるものですとのこと。

今回の講座は、お話を聞くだけでなく、考えて、書いて、と今までにない進め方なので、2 時間が短く感じられた楽しい講座でした。



報告 三上聡雄